

コード	403020301
記入日	H26.5.28

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	安永 佳秀

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	特産品ブランド全国PR強化事業
----------	-----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7		
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1		
基本事業コード	40302	基本事業名称	特産品の開発	目コード	3		
事務事業コード	4030203	事務事業名称	離島活性化交付金事業費	細目コード	1380		
関連計画	長崎県離島振興計画 離島活性化交付金等事業計画		法令・条例規則等	離島振興法 離島活性化交付金交付要綱			

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1) 特産品 (対象2)	(対象指標1) 5品目 (対象指標2)						
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
・本町の特産品を県内外はもとより、全国へ広く知ってもらうために、百貨店販売、屋外物産展、飲食店フェア、五島うどん地獄炊きPRを行い、地場産業の活性化を図る。	(平成25年度) ・百貨店販売 1回 ・屋外物産展 2回 ・飲食店フェア 1回 ・五島うどんCM放送 100回	物産展等実施回数	4回	44.4%	実績回数÷ 計画回数	平成27年度	
		物産展等実施回数	4回	133.3%		平成25年度	
		① (達成率分析)	広域的に宣伝活動を実施することができた。				
		② (達成率分析)	CM放送回数	100回	111.1%	実績回数÷ 計画回数	平成27年度
CM放送回数	100回		333%	平成25年度			
② (達成率分析)		フリースポットでのCMを行い単価を安く設定でき計画以上のCM回数でPRを行った。					
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
・本町の特産品について販路拡大と認知度の向上を推進することで、地場産業の活性化と雇用拡大を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		町内物産生産額(うどん除く)	585,440千円	32.4%	生産額÷ 目標生産額	平成27年度	
		町内物産生産額(うどん除く)	585,440千円	99.2%		平成25年度	
		① (達成率分析)	ほぼ目標どおりの生産額となった。				
② (達成率分析)	五島うどん出荷増加額	1,007,180千円	29.4%	出荷額÷ 目標出荷額	平成27年度		
	五島うどん出荷額	1,007,180千円	92.8%		平成25年度		
② (達成率分析)		目標額より77,869千円減少した。					

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	9	4		3	4	3	3		
	② 回	90	100		30	100	30	30		
成果指標	① 千円	1,806,503	585,440		590,284	585,440	602,089	614,130		
	② 千円	3,420,616	1,007,180		1,085,049	1,007,180	1,139,301	1,196,266		
総事業費 C (A+B)	千円	53,434	16,821		17,090	16,821	18,172	18,172		
直接事業費 A	千円	45,034	15,421		15,690	15,421	14,672	14,672		
人件費 B	千円	8,400	1,400		1,400	1,400	3,500	3,500		
内 従事職員数	人	1.2	0.2		0.2	0.2	0.5	0.5		
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円	22,517	7,710		7,845	7,710	7,336	7,336	
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	30,917	9,111		9,245	9,111	10,836	10,836		

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	大企業の賃上げの動きが中小企業にも波及するなど日本経済は明るい兆しをみせていると言われているものの、地元においては依然として厳しい経済状況にある。地元雇用の拡大を求める住民のニーズに対応するためには、地場産業の活性化を目指すことが重要であり、当該事業を継続する必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	高島屋二子玉川店での催事や東京駅八重洲口地下及び湯島で展開してるもつ焼き「三六」(みろく)で飲食店フェアを開催し、首都圏でのPRに務めたところだが、単年では成果が求められないので、今後も継続して行うことが重要である。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	特産品の商品情報とともに町の観光や歴史・文化なども同時に発信することで、五島列島全体の認知度が向上するため、情報発信に努めたい。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	計画よりも数多くの宣伝が出来た。高島屋二子玉川店催事1回、物産展 (JR博多駅、阪急梅田駅構内)2回、飲食店フェア3店舗 (三六湯島店、三六八重洲店、フレンチジェファン)で開催し、それぞれの開催期間中に「上五島のごっつ」というキャッチフレーズで宣伝できた。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	費用と業務量を抑えると事業内容にも影響することから、縮小することは出来ない。	

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	*****平成25年度新規事業*****
	今後、課題に向けた改善策	地元雇用を増やすためにも、島外への販路を拡大し、事業者のニーズに沿った物産振興策を実践していく。

2 次 評 価	本町特産品の販路拡大と認知度向上を推進し、地場産業の活性化と雇用拡大に繋げていくため、関係機関との協議・連携を行い効果的なPRを実施していくこと。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。